

石川

半二郎源某ハ出雲守つとむり数正かずただハ二男ふたごト
して玄蕃頭康長やすながハ弟あにトあり数正かずただハ
東照宮小侍こざむらいトありて屢軍功あり
天正十八年七月信濃國松本ヲ城とりト
あり八万石ト領シ文禄二年小卒こぞセリ
此時半二郎父ちちハ遺領いりょうのうち五万石
ハあり賜たまりり慶長八年二月

東照宮將軍宣下御拜賀のしとこ供
奉に列ひ同十八年十月兄康長久保
石見守長安う事小坐して不領候
没収せられ毛利信勢守高政小女
あつあつまじし時半二郎と采邑候
収公せしる家譜

石川

五郎右衛門源吉久いさむら 按てらふふ父の
名はるるし先祖ハ下野

権守政康より出西三河小といふ

東照宮小由みえたてまらう後山守

八幡宮の神主佃馬とよひ神原集之助

忠政とともく仰成りけたまわり

て山中の一揆と防く某のしとこ死に

法名ハ道心といふ其子金阿彌吉次きんあみハ